※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０７

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	第一学習社　高等学校「新公共」						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の社会の基礎的な事項について学習し理解する。
・18 歳選挙権や裁判員制度など、社会人として責任ある行動が取れるよう知識と教養を身につける。
・新聞や報道番組なども教材として活用する。

・定期テストにむけた学習をつうじて学習内容を確実なものとする。
・教材プリントの取り組み状況を評価に加える。
・自身の考えやグループ討議の結果などの発表を評価に加える。

２　学習の到達目標

幸福、正義、公正など、人間と社会の在り方についての見方・考え方などをはたらかせ、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家や社会の形成者に必要な公民としての基礎的な知識や資質・能力を身につける

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 ○諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	○課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的･多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	○現代の社会と人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月～7月	公共の扉	○公共的な空間をつくる私たち ○公共的な空間における人間としてのあり方生き方 ○公共的な空間における基本的原理	a:公共な空間における様々な基本的原理について知る b: 社会に参画するため、自ら選択・判断できるようになる c:社会に参画する自立した主体としての自覚と積極性を持つ	定期考査 授業 プリント	定期考査 授業 プリント	授業 プリント
	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	○法的な主体となる私たち ・法や規範の意義と役割 ・契約と消費者の権利と責任 ・司法参加の意義	a:社会での保障される自由や権利、秩序について知る b:判例など実際の事例を通し、判断の基準を学び、自らの意見を発信できるようになる c:人権が保障されることの大切さや今後の課題について関心をもつ	定期考査 授業 プリント	定期考査 授業 プリント	授業 プリント
8月～12月		○政治的な主体となる私たち ・政治参加と公正な世論形成 ・国際社会と国家主権 ・日本の安全保障と防衛 ・国際社会の変化と日本の役割	a:社会を動かす政治的な仕組みについて知る b:新聞やニュースなどを通し、実際の政治の動きについて考察できるようになる c:主権者としての自覚を持つ	定期考査 授業 プリント	定期考査 授業 プリント	授業 プリント
		○経済的な主体となる私たち ・雇用と労働問題 ・社会の変化と職業観 ・市場経済の機能と限界 ・金融の働き ・財政の役割と社会保障 ・経済のグローバル化	a: 経済生活における様々な制度や課題について知る b: 公正で自由な経済活動のためには何が必要か考察できるようになる c:豊かな社会に実現に対しての自分なりの価値観を持つ	定期考査 授業 プリント	定期考査 授業 プリント	授業 プリント
1月～3月	持続可能な社会づくりの主体と	○課題探究活動 ・排出権取引を考える ・ベストミックスを考える ・ゲノム編集を考える ・インターネットによる投票を考える ・フェアトレードを考える	a:現代社会の様々な課題について知る b:これまで学習してきたことを基に、議論し自分たちの答えとして発表できるようになる c:社会の課題を自分事としてとらえ、解決に向けて積極的に議論に参加する	定期考査 授業 グループワーク プリント	定期考査 授業 グループワーク プリント	授業 グループワーク プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度